

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成26年第2回定例会は、6月3日(火)から6月20日(金)までを予定しています。

◆本会議 (予定) 午前10時開会

6月3日(火)～6月6日(金)及び6月20日(金)

◆常任委員会 (予定) 午前10時開会

6月10日(火)～12日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

平成26年 第1回定例会本会議の傍聴者数等

- ・傍聴者数 延べ44名
- ・インターネット議会中継閲覧件数 (2月25日～3月26日) 222件

◆定住化対策特別委員会 中間報告

わが国では人口減少時代が到来する中、自治体間において担税力のある人口獲得競争が本格化する状況にあり、人口減少は地域の活性化やまちづくりの大きな阻害要因となっています。

そのような状況の中、当市の人口におきましても平成14年をピークに減少に転じ、特に29歳以下の構成比率の減少が目立っています。

このことから、若者の人口増加対策や住むまちとしての魅力あるまちにするにはどうしたらよいかといった課題に取り組むべく、本市議会としても、定住化を促進するための住宅施策の観点から調査・研究の目的で定住化対策特別委員会を設置し、調査をしてきました。

そうした中、平成19年7月に策定しました「福生市住宅マスタープラン」の改定案が市長から議会に示されたことから、この改定案について、当委員会でもさまざまな角度から調査・研究を行い、その結果、10項目にわたる要望事項にまとめた「福生市住宅マスタープラン改定案に対する要望書」を作成し、議会に諮り、市長に提出しました。

その後、市では、議会からの要望等が反映された「福生市住宅マスタープラン改定」の最終案が本特別委員会に報告されました。

当委員会では、福生市住宅マスタープランの改定に伴い、付議事件であります住宅施策の調査・研究について、一定の結果を見たかと判断し、住宅施策についての調査結果を議会に中間報告しました。

なお、付議事件として新たに追加した子育て施策(福生市子ども・子育て支援事業計画について)を調査・研究していく予定です。

【要望事項】

- 1 平成19年7月に策定した現行プランに記述のある現行計画の評価、総括及び達成度を今回の改定プランにも記載し、あわせて前倒しの理由も盛り込むこと。
- 2 総合計画等と同様に、前期及び後期に分けた5年ごとの見直しを検討し、議会へ報告すること。
- 3 市民に分かりやすい文章表現及び説明等の解説(出典)の記述をすること。
- 4 「住宅・住環境に関する市民アンケートの調査結果」を反映した内容を、重点施策等の中で分かるような記述をすること。
- 5 国・東京都の住宅施策等の方針、計画の見直しが行われたときには随時、議会に報告をすること。併せて、福生市住宅マスタープランの整合性を図る改定をするときにも議会へ報告をすること。
- 6 可能な範囲で、重点施策の定量化及び数値化を設定し、年度ごとの計画の進行管理を行うこと。
- 7 独立行政法人都市再生機構及び東京都住宅供給公社へ居住者が自由にリフォームできるような制度の創設及び近隣とのコミュニケーションを図る施策等について関係機関へ要望していく旨を記述すること。
- 8 福生市の定住化対策に資する、良質な住宅建設等の促進策及び顕彰制度等の創設を検討すること。
- 9 用途地域の見直し地区計画、区画整理事業及び市街地再開発事業の積極的な活用を図ること。
- 10 ファミリー世帯等の住宅の新築・改築等の促進を図られるよう、各種支援制度の更なる充実及び税制の優遇措置等を国や東京都に働きかけること。

定住化対策 特別委員会

3月14日に委員会が開催され、7件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

なお、定例会休会中に委員会を開催し、新たに「子育て施策について」を追加し、調査研究することを決定しました。

1. 福生市住宅マスタープランについて

先の定例会で議会で要望した内容を取り込んだマスタープランについて市から説明がありました。

2. まちづくり総合活性化研究事業の結果報告について

25年度に市が定住化のために調査研究した結果の説明がありました。

3. 子育て施策の現状について

新たに付議事件として追加した子育て施策について調査研究するため、市の施策の現状について説明がありました。

4. 福生市子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査結果報告について 福生市子ども・子育て支援事業計画を策定するため実施したニーズ調査(アンケート)の結果の説明と、今後のスケジュールの説明がありました。

5. ふっさつ子未来会議の報告について

現在、教育委員会が設置している「ふっさつ子未来会議」での学力向上対策、不登校・健全育成対策の検討状況について一年間の報告がありました。

6. 定住化対策特別委員会の中間報告について

当委員会の一年間の検討結果について、今定例会最終日の本会議で中間報告を行うための、報告案を審査しました。



▲定住化対策特別委員会の審議の様子

7. 付議事件の変更について

現在調査研究している「子育て施策について」具体的な事項を検討するため、現在、市が策定している「福生市子ども・子育て支援事業計画」のまとめを待って、調査研究するため、「子育て施策について(子育て支援事業計画について)」と変更し、今後、調査研究することになりました。

3月14日に委員会が開催され、3件の議題について審査を行いました。

横田基地対策 特別委員会

3月14日に委員会が開催され、3件の議題について審査を行いました。

1. 平成26年度防衛補助事業等の実施予定について

①防衛補助事業(8条)は、加美立休通り外1改良事業、玉川上水緑地日光橋公園等整備事業等、3事業に補助額5239万9千円。

②特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条)は、交付額3億5千万円で、もくせい会館・商工会館改良事業、消防ポンプ自動車更新事業等4事業に充当し、残りは基金に積立て。

③再編交付金の交付額は、前年度と同額の2億764万1千円で、全額基金に積み立てた後、7500万円を福祉バス運行事業等7事業に充当し、26年度末の残高は7億1745万5千円の見込みとの説明がありました。

2. 平成26年度基地関係国予算について

①防衛省所管の基地周辺対策経費(再編交付金を含む)は、対前年度比1.4%増の約1312億1900万円。

②総務省所管の基地交付金等は、前年度と同額の345億4千万円、また、福生市への25年度交付額について9条交付金の3億7700万6千円、基地交付金は対前年度比12.5%増の16億3013万7千円との説明がありました。

3. 横田基地に関する情報等について

①1月11日に行われた横田基地内の小・中・高校生ら有志19名と市民有志3名による第2ゲートから福生駅間の道路清掃活動。



▲防衛補助事業で購入した消防ポンプ車

②2月25・26日に延べ約20名の兵士により実施された人員降下訓練について、航空機騒音による市民からの苦情が2件。

③米軍属家族による強制わいせつ事件に対し、横田基地周辺市町基地対策連絡会による横田基地へ再発防止等の口頭要請。

④3月3日～7日のサムライ即応監査の実施状況。以上4件の報告がありました。

特別委員会活動のり...

編集後記

予想外の大雪、残雪の中で始まった定例会でしたが、最終日には桜の開花の音が聞こえる季節に変わっていました。

会期中には国の平成26年度予算が年度内に成立されました。わが市は国からの補助金・交付金から大きな割合を占めます。特に横田基地関連の補助金・交付金は予算全体の約一割を占めます。理事者と一体となった予算要望活動も議会の大きな仕事です。

会期中に大雪対応で、生活に必要な道路の雪かきに昼夜を問わずご尽力いただいた消防団員、職員に匿名で手作りクッキーが届けられ、添えられたメッセージを読み上げていただいた時は感動で目頭を押さえました。小・中学校の卒業式が

挙行され、小学校では四百四十余名、中学校では四百四十余名が巣立って行きました。大きく成長してわが市のリーダーになっていただけるようご期待申し上げます。

議員各位は、立ち位置が違えば意見も違います。互いに議会を尊重、信頼をもって、議案一つ一つに真摯に向き合い質疑・討論をしていますので、本会議、委員会におかけ、傍聴していただきたく思います。